

地域・行政側からの主な意見・要望等は次の通り。

◇
◇
◎ゲームセンターは特段、大きな問題はないと認識している。AOUに加盟していない店舗にパトロールに行くと青少年が減少していて大人が熱中している印象がある。(県少年警察ボランティア協会)

◎平成28年度は長野県内の処分件数は0件だった。ただ、年少者の入場制限時間緩和に関しては異論や反論もあったというところは改めてご承知おきいただきたい。(県警本部)

◎置き引き、盗撮事案があったので青少年への声かけは改めてお願いしたい。また、防犯カメラの操作方法がわからない店舗スタッフがいるようなので把握させておくようにしてほしい。(中央警察署)

◎少年非行は10年前に比べ3割減。補導件数は若干ではあるが増えている。店舗スタッフと近隣交番の警察官が顔の見えるコミュニケーションを普段からとっていると、いざという時にスムーズに対応できると思うので、良好な関係作りをお願いしたい。(県警本部)

◎言いにくいこともあると思うが、私どもが店舗巡回に行った際には何でも相談してほしい。(少年育成センター)

◎新しく始まった「青少年サポーター制度」の登録を是非お願いしたい。現在の活動内容である「いい育児の日」「信州あいさつ運動」「こどもの性被害防止」などへの協力を。特に「こどもの性被害防止」に関しては条例の周知を徹底させたいと考えている。(県民文化部)

◎防犯についての周知に努めたいので、防犯協会発行の新聞『防犯信州』の購読をお願いしたい。(防犯協会)

九州・沖縄地区本部

(菊池康男地区本部長)

鹿児島県本部

(犬伏和章本部長)

日時／平成29年10月25日(水)

14時～16時

場所／タカプラ6階催事場(鹿児島市)

◇
◇
昨年から防犯協会との共催となった鹿児島県の地域懇談会は今回で11回目を数える。地域・行政側からの主な意見・要望等は次の通り。

◎平成28年度のゲームセンター内の少年犯罪はなし。補導件数は減少傾向にある。(県警本部)

◎各教育事務所と地域振興局が連携し、夏休み中にゲームセンター等の巡回指導に行き実態調査、それぞれで調査内容をもとに活動を行っている。親子でスキップの図れるゲームの作成・運営をお願いしたい。(県教育庁)

◎中学生の外出が増加傾向にある。冬場は屋内に居ることが多くアミューズメント施設に立ち寄り実態がある。様子が変わったり、普段みかけない子どもがいた場合は声かけ・状況の確認をし、もし家出少年であれば警察へ連絡してほしい。また、家庭用ゲーム機でインターネット接続するものが多く、親の目の届かない状況がある。AM施設が健全で安心感を得られるならば保護者に対してアプローチを。保護者は子どもの遊び場を模索する中で苦しい場所にしてほしい。親子のスキップやコミュニケーションの場として活用できる空間、教育支援的な育成ゲーム、体力づくりができるゲームがあればと思う。(県PTA連合会)

◎スマホに頼りすぎて人とのコミュニケーションがとれず人間関係を作れない子どもが増え、不登校に陥ってしまう事例が増加している。今回の懇談会で学んだことは持ち帰って他の高等学校間で共有する。施設等で何かあれば連絡いただければこちらとしても情報共有できるのでよろしくお願ひしたい。(県生活指導研究協議会)

◎ゲームセンター等についての相談事例はないが、スマホゲームの影響で昼夜逆転現象・依存型になり外出できない等の相談が多く寄せられている。全国的に「家庭の日」があるが、以前(家で過ごす日)とは変わり最近は様々なイベントへ参加する傾向がある。その中でもAM施設へ出かけることが多くなっており、家族みんなで遊ぶ良い場所を提



【地域・行政側出席者(8名)】

鹿児島県鹿児島地域振興局総務企画課 主事	勝久 裕子氏
鹿児島県教育庁社会教育課社会教育主事兼専門員	大田 高行氏
鹿児島県警察本部生活安全部生活安全企画課 風営担当補佐	井上 京一郎氏
鹿児島県警察本部生活安全部少年課少年サポート係長	泊 浩太郎氏
鹿児島県PTA連合会 副会長	吉満 祐市氏
鹿児島県生活指導研究協議会事務局(明倫館高校)	小吉 成興氏
鹿児島県青少年育成県民会議 事務局次長	蔵元 桂氏
鹿児島県青少年育成アドバイザー連絡協議会 会長	帖地 近行氏

【主催者(18名)】

(公財)鹿児島県防犯協会 専務理事	柏木 重信
AOU会長(九州沖縄地区本部長)	菊池 康男
AOU専務理事	鈴木 剛夫
AOU研修委員長	内田 慎一
AOU鹿児島県本部長	犬伏 和章
AOU熊本県本部長	木村 仁信
AOU沖縄県本部長	仲順 恵理子

供していただいていると感謝している。青少年指導員養成講座受講者の在籍店舗は、店内への表示とスタッフの名札で明示を。(県民会議)

◎自分は第一期インベーターゲーム世代。当時は隠れて誰にも見つからないように店に入っていたが、今は堂々と行ける。これは業界の努力の賜物だと思う。AOU非加盟の店舗に働きかけ、加盟率を100%にしてほしい。また、遊びの部分は大切だがそればかりだと問題。ゲームに関しては教育に関するもの以外にも心を育てるものの開発をしてほしい。余談だが、意識障害の方を見舞った際、施設長にゲームとアニメセラピーの効用について話し、実際に導入されたところ、施設の入所者に活気が出たと喜ばれた。(青少年育成アドバイザー連絡協議会)